

草津水性植物園・琵琶湖博物館観察会

2018・7・27



温帯睡蓮

オオボウシバナ

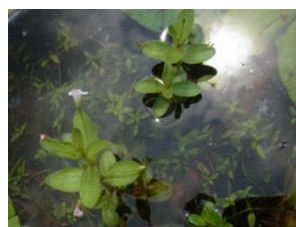
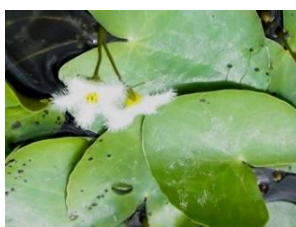
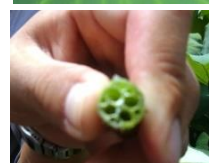
草津市市の花
ツクサの栽培種



ハスを手に
とって観察
実の試食も



ハスの葉は傘になるでしょうか？
インブリ入門講座では？



タヌキモ、ガガブタ
アゼナ、ヒレタゴボウ
ラン科の？？、

琵琶湖のハスの壊滅を
防ぐため保存育成されてい
るハス →→



睡ム
蓮カ
のゴ

熱帯睡蓮は花茎を水面より立ち上げ、葉の中心部からムカゴを形成していた。これは初めて目にするもので、興味深かった。



「B展示室」

「人と琵琶湖の歴史」

「C展示室」

「湖のいまと私たち」



はるか400万年前、琵琶湖は誕生し固有種たちをはぐくむ進化のドラマを演じました。
やがて人間が琵琶湖周辺の自然の中で暮らしを営み、

恩恵を受けながら今日まで独自の文化を発展させました。

琵琶湖博物館は、湖と人間のよりよい共存関係を目指すための入口です。

(博物館パンフレットより)

